

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 19 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '公共下水道整備事業' and '公共下水道事業特別会計'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about sewerage maintenance and project goals.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes a data table for activity indicators like '整備区域の面積' and '整備管渠延長'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and employee numbers for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes a sub-table for '事業費の内訳'.

Table comparing '30年度事業費実績 (千円)' and '01年度事業費 予算 (千円)' with itemized costs like '09 旅費', '11 需用費', etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 01, 02, and 03 fiscal years' implementation content. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	公共下水道整備事業	事務事業No.	50502000123	所属課	下水道課
-------	-----------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成8年に県と周辺市町村で小貝川東部流域下水道事業が発足し、流域下水道事業が開始された。
しかし、開始時期から比べて地域経済の低迷や高齢化が進行し、市の財政事情も年々厳しくなっており、近年の整備進捗は低い現状にある。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

公共下水道接続を希望されている住民の方からは早期な整備要望を聞く。しかし、現在進めている区画整理地内の住民の方の中には、浄化槽が壊れるまでは接続しないなどの声もある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	公共用水域の水質改善、生活環境の向上という政策体系と合致している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	公共用水域の水質改善と快適な生活環境を求めるもので公共が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人口が多く接続効率の高い地域での下水道整備を推進し、整備済み区域での早期の接続を促すことにより、公共用水域の水質改善及び生活環境の改善の早期実現への向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	事業計画区域内を整備途中の事業であり、廃止・休止は区域内市街地住民に対し公平なサービスを提供できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) →	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名 浄化槽設置事業(市街地・市設置) 事業目的である公共用水域の水質改善と快適な生活環境の観点から考えれば、計画区域内にありながら整備計画の立っていない区域を浄化槽対応としていくことも有効と考えられる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	費用効果を考慮した生活排水計画の見直しを行い、下水道施設と合併浄化槽との効率的かつ効果的な排水整備区域分けをすることにより、全体事業費を縮減することは可能である。しかし、人件費については2名体制となっており削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	下水道計画区域内では、整備後供用開始区域内の土地に対し受益者負担金を課しており公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	公共用水域の水質改善、生活環境の向上という面で、公共下水道の整備は妥当性はあるが、財政状況などの要因から整備の進捗率には限度があり全体計画整備区域を考えると、供用開始が相当期間見込めない区域等を含め繰り返し生活排水計画の見直しを行い、浄化槽対応なども検討し、早期の成果実現に向かうようにする必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
コスト																							
	削減	維持	増加																				
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下			×																			
公共用水域の水質改善、生活環境の向上という面で、公共下水道の整備は妥当性はあるが、財政状況などの要因から整備の進捗率には限度があり全体計画整備区域を考えると、供用開始が相当期間見込めない区域等を含め繰り返し生活排水計画の見直しを行い、浄化槽対応なども検討し、早期の成果実現に向かう。		(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果	①																				
		コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>